

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第301号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年12月27日 07時07分ごろ	
発生場所	京浜港横浜第1区 神奈川県横浜市山下ふ頭2号岸壁付近 (概位 北緯35°26.9′ 東経139°39.3′)	
事故等調査の経過	平成21年12月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>貨物船 <small>リックマース トウキョウ</small> RICKMERS TOKYO（マーシャル諸島共和国）、23,119トン 9235995（IMO番号）、TOKYO NAVIGATION CO.LTD.</p> <p>船長（ルーマニア国籍）、締約国資格受有者承認証 船長（マーシャル諸島共和国発給） 水先人、東京湾水先区1級水先人水先免状</p>	
死傷者等	なし	
損傷	本船 球状船首上部に破口を伴う凹損 岸壁 一部脱落を伴う損傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか26人が乗り組み、水先人を乗船させ、左舷船尾にタグボート（約2,942kW）を配置し、京浜港横浜第1区の山下ふ頭2号岸壁（以下「2号岸壁」という。）に右舷着けするため、2号岸壁の前面水域で左回頭を開始した。</p> <p>水先人は、本船の主機を極微速力前進及び左舵一杯とし、約5.4ノットの速力で左回頭中、船尾方から約10～12m/sの強風を受ける状況となり、前進速力が思うように低下しなかったため、本船の主機を後進にかけたものの、本船は、平成21年12月27日07時07分ごろ、船首部が2号岸壁に衝突した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 5、視界 良好</p> <p>海象：波高 約30cm、潮汐 上げ潮の初期</p>	
その他の事項	<p>本船は、900kWのバウスラスタを装備していた。</p> <p>水先人は、乗船時、北風が約12～13m/sであったため、着岸作業の補助にタグボート1隻の追加を船長に要請したが拒否され、1隻のタグボートだけで着岸作業を行うことに同意した。</p> <p>水先人は、2号岸壁の前面水域で左回頭中、前進速力を制御するため、本船を船尾方に引かせる態勢でタグボートを待機させていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、京浜港横浜第1区の2号岸壁前面水域において、水先人の操船指揮により2号岸壁に着岸作業中、船尾方から風を受ける状況となった際、適切に前進速力を制御しなかったことから、船首部が2</p>

		<p>号岸壁に衝突したものと考えられる。</p> <p>水先人は、着岸作業中、本船の前進速力を制御するため、タグボートを船尾に待機させていたが、同タグボートを使用しなかったものと考えられる。</p>
原因		<p>本事故は、本船が、京浜港横浜第1区の2号岸壁前面水域において、水先人の操船指揮による着岸作業中、船尾方から風を受ける状況となった際、適切に前進速力を制御しなかったため、船首部が2号岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>